

データ受け渡し検証

整備局 CIMをフォローアップ

維持管理の試行見据え

務でCIMを試行。13年度には、工事の初弾工事となる「八王子南バイパス大寺田地区(その3工事)」を沼田土建(群馬県沼田市)と契約した。今後もCIM試行工事を拡大する考えだ。

CIMが普及するための課題として、大手全国ゼネコンに比べ、地域を支えるC等級企業がCIMを使いこなせる技術者に乏しいことや、CIM導入により上乘せされたコストに見合う「効果」を工期や品質、安全管理などで実証する必要があるため、試行工事のフォローアップを通じて、C等級企業への普及や、導入効果について検証する。

また工事段階では、維持管理を見据えたCIMモデルの活用も大きなテーマになる。CIMモデルには、部位・部材ごとに属性情報を付与できる。例えば、壁や柱のモデルデータに、コンクリートの強度や打設した日時、気温などを記録できる。こうした情報をどのレベルまで与え、維持管理に役立てるかも検証テーマの一つだ。

同局では、2012年度に3件、13年度に1件の設計業

「平成26年度3次元形状情報を活用した建設生産システム普及検討業務」の簡易公募型プロポーザルを公告。参加表明書は20日まで受け付ける。

技術提案書を3月10日まで受け付け、特定する。

参加資格は、土木関係建設コンサルタントの認定など。

概要は、3次元形状情報を活用した建設生産システムによる試行事業の検討、情報共有システムの検証、電子成果に関する説明会、ICT普及等の検討・運営支援など。履行期間は15年2月まで。

【建設ICT】

- | | | | |
|----------|----------|--------|----|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 日勢 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 日刊 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 毎日 | 日海 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊 | 業事 |
| ③建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本 | |
| 16. 建設工業 | | | |

平成26年2月19日(朝)・夕 P5